



福山市市制施行 100 周年記念事業 | 100

英国ロイヤル・バレエ団

日本公演

「ジゼル」

全 2 幕

GISELLE
Ballet in two acts

死へといざなうウィリの神秘の舞いと、
真心を貫くジゼルの恋。
演劇の国の「ジゼル」はいつもよりドラマティック!

2016年7月6日(水)

18:30開演(17:45開場)

ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ大ホール

入場料 / 全席指定 (税込、未就学児入場不可)

一 般	SS 席 : 24,000 円	S 席 : 22,000 円
	A 席 : 20,000 円	B 席 : 18,000 円
高校生以下	SS 席 : 12,000 円	S 席 : 11,000 円
	A 席 : 10,000 円	B 席 : 9,000 円

※高校生以下のチケットはリーデンローズ及び電子チケットのみの取扱いとなります。

発 売 日	メイ/3月26日(土)	一般/4月2日(土)
-------	-------------	------------

※諸事情により記載内容が変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

監督 : ケヴィン・オヘア
振付 : マリウス・プティパ
(ジャン・コラーリ、ジュール・ペローによる)
演出 : ビーター・ライト
音楽 : アドルフ・アダン
管弦楽 : 大阪交響楽団

〈チケット取扱〉

リーデンローズチケットセンター TEL084-928-1810
天満屋福山店プレイガイド、スガナミ楽器本店、久松レコード、フジグラン神辺
TSUTAYA (新湊店・伊勢丘店・松永店・府中高木店)
ローソンチケット 0570-084-006 Lコード: 65339
チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード: 449-209

お問い合わせ / リーデンローズ 084-928-1810
〒720-0802 広島県福山市松浜町二丁目1番10号

主 催 / 公益財団法人ふくやま芸術文化振興財団 ふくやま芸術文化ホール
共 催 / 広島テレビ



Royal Opera House, © Peter Mackertich

“ロイヤル”の名のもとに世界中から逸材がそろう。

英国ロイヤル・バレエ団



「ジゼル」 全2幕



photo:Bill Cooper



Peter Wright

ピーター・ライト
(振付家 1926～)

ロンドン生まれ。1977年から95年までサドラーズ・ウェルズ・ロイヤル・バレエ団(90年より英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団、BRB)芸術監督を務めた(95年より名誉芸術監督)。「眠れる森の美女」「 Coppélia」「白鳥の湖」などの古典作品の改訂で世界的な評価を獲得している。

月明かりの夜、白い顔に魅惑的な笑みをうかべて踊るウィリたちは、抗いがたく誘惑的。けれどその狂気に取り巻かれた男は、死ぬまで踊り続けなければならない…。

婚礼を前に死んだ若い女性の霊ウィリの伝説をもとにした、ロマンティック・バレエ「ジゼル」は、19世紀に大ヒットを飛ばして以来、脈々と踊り継がれてきた傑作バレエです。

ヒロインのジゼルは、愛を誓い合った男性に裏切られ、まさに伝説のウィリの悲劇の運命をたどります。けれど彼女は魔性の存在となつてなお、愛を貫き、同胞たちから彼を守るのです。ドラマティックな展開を見せる第1幕の現実世界と神秘的な霊界を描く第2幕の鮮やかな対比。その中で成長を遂げるジゼルの幽玄美と精神性は、時代を越えて観客の心をとら

えてきました。

今回上演される「ジゼル」の演出は、英国における古典バレエの第一人者、ピーター・ライトによるもの。その特徴は、英国らしい演劇的な整合性や細部へのこだわりにあります。ジゼルの死を心臓の病のためではなく自殺とし、そのために正式な埋葬がされなかったことや、ジゼルの出生の謎を暗示する母ベルタの描き方など、細部へのこだわりが演劇的な厚みを生み、現代人にとって説得力をもつ展開となっているのです。

踊りと演技が一体となった高い表現力を求められる本作は、いまなお演じるダンサーたちにとっての試金石であり、これまで幾多の名演を生んできました。英国ロイヤル・バレエ団が誇るスターによる上演は、その歴史に新たなページを刻むことでしよう。

ジゼル

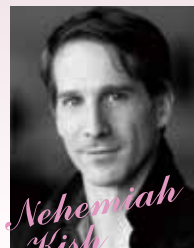
ラウラ・モレーラ〈プリンシパル〉



マドリッドに生まれ、英国ロイヤル・バレエ学校で学ぶ。1995年に英国ロイヤル・バレエ団に入団し、07年にプリンシパルに昇進した。おもなレパートリーに、『オネーギン』のタチヤーナ、『ドン・キホーテ』のキトリ、『くるみ割り人形』の金平糖の精、『マノン』のマノン、レスコーの愛人、『ラ・バヤテール』のガムザッティ、『うたかたの恋』のステファニー王女、ミッツィー・カスパー、ラリッシュ伯爵夫人、『ダフニスとクロエ』のリカニオン、『シルヴィア』のディアナ、『ラ・シルフィード』のエフィー、『リーズの結婚』のリーズ、『ジゼル』のミルタ、『スケートをする人々』のブルーの少女、『白鳥の湖』、『シンデレラ』、『眠れる森の美女』、『Coppélia』、『シンフォニー・イン・C』、『大地の歌』、『シンフォニック・ヴァリエーション』、『グロリア』、『ランデヴー』、『コンチェルト』、『牝鹿』、『イン・ザ・ミドル・サムホワット・エレヴェイテッド』、『オンディーヌ』、『ラプソディ』、『シンフォニエッタ』、『ポリフォニア』、『薔薇の精』、『結婚』、『マイ・ブラザー、マイ・シスターズ』、『バレエ・インベリアル』、『放蕩者のなりゆき』、『DGV:超高速ダンス』、『ジュエルズ』の「エメラルド」、『タンセズ・アット・ア・ギャザリング』、『七つの大罪』、『クローマ』などがある。『トリスト』、『エレクトリック・カウンターポイント』、『ラッシュー失われた物語の断片』などを初演している。

アルブレヒト

ニーアマイア・キッシュ〈プリンシパル〉



米国ミシガン州、テトロイト生まれ。カナダ・ナショナル・バレエ・スクールで学び、2001年、ナショナル・バレエ・オブ・カナダに入団。05年にプリンシパルに昇進した。08年、デンマーク・ロイヤル・バレエ団にプリンシパルとして移籍した。当時のレパートリーに、『ラ・シルフィード』のジェイムズ、『ドン・キホーテ』のバジル、『ジゼル』のアルブレヒト、『オネーギン』、『ラ・バヤテール』のソロル、『眠れる森の美女』のフロリムント王子、『ロミオとジュリエット』のロミオ、『じゃじゃ馬馴らし』のベトルーチオ、『ジュエルズ』の「ダイヤモンド」、『四つの気質』の「粘液質」、『大地の歌』、『グロリア』、『ストラヴィンスキー・ヴァイオリン・コンチェルト』、『チャイコフスキー・バド・ドゥ』やロビンズ、テトリ、ケルカ、ウィールドンなどの作品がある。10年に英国ロイヤル・バレエ団にプリンシパルとして移籍。『三人姉妹』のヴェルシーニン、『白鳥の湖』のジークフリート、『眠れる森の美女』のフロリムント王子、『マノン』のデ・グリュエ、『エニグマ変奏曲』のリチャード・P.アーノルド、『シンデレラ』、『くるみ割り人形』の王子、『不思議の国のアリス』のハートのジャック／庭師ジャック、『ペンギン・カフェ』、『テーマとヴァリエーション』、『ヴォランタリーズ』、『スケートをする人々』、『DGV:超高速ダンス』などがある。『メタモリフォシス:ティツィアーノ2012』の「トレスパス」、『アエテルナム』を初演している。

★あらすじ

村娘ジゼルは、村人になりましたアルブレヒト伯爵に恋をする。母ベルタは、婚礼の前に男に捨てられて死んだ娘たちの亡霊「ウィリ」の話をし、その恋をあきらめさせようとする。そんな時、貴族の一行がジゼルの村を訪れる。ジゼルは美しい貴族の女性パチルドをもてなすが、彼女はアルブレヒトの婚約者だった。ジゼルを愛する森番ヒラリオンは、恋敵アルブレヒトの素振りに怪しさを感じとり、皆の前で正体を暴く。ジゼルは衝撃のあまり狂気に陥り、アルブレヒトの剣で自らの命を絶つ。

夜、ヒラリオンとアルブレヒトが相次いで森の中の彼女の墓を訪れるが、彼女は「ウィリ」となっていた。ウィリたちはヒラリオンを踊らせて殺し、次の標的をアルブレヒトに定める。ジゼルは必死に彼を守り、いつしかウィリの魔力が失われる夜明けが訪れる…。



© Will Pearson



photo:Bill Cooper